

□ 総合学術研究科保健福祉学専攻博士課程前期 (令和6年度入学生用)

	授業科目の名称	配当年次	学 期					単 位 数	授 業 時 間	担 当 者 () 内非常勤	備 考
			前 期	後 期	必 修	選 択	自 由				
共通科目	保健医療福祉研究法総論	1・2	○		2				青井・金井・西田・小澤・細羽	10単位以上修得	
	統計解析学特論	1・2		○	2		30	飯田・西上・古屋			
	質的調査法特論	1・2		○	2		30	黒田・織田・田中聡子			
	アカデミックスキルズ	1・2	○		2		30	長谷川正・高木・渡辺眞			
	コミュニケーション特論 (英語プレゼン)	1・2		○	2		30	吉川・オムニバス			
	リハビリテーション科学特論	1・2	前期集中		2		30	西上・田中睦・矢守			
	保健医療福祉管理学特論	1・2	後期集中		2		30	奥田・菅井			
	医療福祉倫理学特論	1・2	前期集中		2		30	(上野)・吉川			
	保健福祉専門職教育特論	1・2	○		2		30	山中・池田・梅井			
	作業科学特論	1・2	後期集中		2		30	吉川・高木			
	がん医療・エンドオブライフケア特論	1・2	後期集中		2		30	黒田・田中聡・(小原)			
	地域医療福祉学特論	1・2	後期集中		2		30	田中聡子・上野陽・坊岡			
	発達学特論	1・2	○		2		30	島谷・助川・堀江			
	生体情報計測学特論	1・2	前期集中		2		30	金井・積山			
	女性の健康支援論	1・2	後期集中		2		30	宮下・沖西			
高齢者医療福祉特論	1・2		○	2		30	國定・渡辺陽・森				
授業科目の概要	地域保健学・実践看護学分野	免疫学特論	1・2	○		2		30	加藤洋	20単位以上修得	
		公衆衛生活動特論	1・2		○	2		30	俵		
		母性看護学特論	1・2	○		2		30	上野陽		
		健康科学特論	1	○		2		30	安武		
		地域保健学特論	1	○		2		30	岡田ゆ		
		地域包括ケア特論	1	○		2		30	菅井		
		がん・慢性看護学特論	1	○		2		30	黒田		
		生涯発達看護学特論	1	○		2		30	松森		
		成人看護学特論	1	○		2		30	岡田洋		
		基礎看護学特論	1	○		2		30	青井・奥田		
		精神看護学特論	1	○		2		30	井上		
		ウイメンズヘルス看護学特論	1	○		2		30	宮下		
		医療情報統計学特論	1	○		2		30	飯田		
		地域保健学・実践看護学演習	1		○	4		60	安武・岡田ゆ・黒田・松森・岡田洋・青井・井上・宮下・飯田・菅井・奥田		
		地域保健学・実践看護学特別研究	1~2		○	10		300	安武・岡田ゆ・黒田・松森・岡田洋・青井・井上・宮下・飯田・菅井・奥田		
専門科目	総合リハビリテーション学領域	内部障害リハビリテーション学特論	1	○		2		30	積山		
		脳神経機能学特論	1	○		2		30	森		
		運動障害評価学特論	1	○		2		30	小野		
		機能・形態障害治療学特論	1	○		2		30	田中聡		
		筋・骨格系障害疼痛治療学特論	1	○		2		30	西上		
		人体動態解析学特論	1	○		2		30	金井		
		発達科学特論	1	○		2		30	島谷		
		医療ヘルスイノベーション特論	1	○		2		30	長谷川正		
		医療教育学特論	1	○		2		30	梅井		
		運動行動障害学演習	1		○	4		60	森・小野・田中聡・西上・金井・島谷・長谷川正・梅井・積山		
運動行動障害学特別研究	1~2		○	10		300	森・小野・田中聡・西上・金井・島谷・長谷川正・梅井・積山				

授 業 科 目 の 概 要	専 門 科 目	総合リハビリテーション分野 作業遂行障害学領域	発達過程作業療法学特論	1	○		2	30	助川	20単位以上修得
			認知障害作業療法学特論	1	○		2	30	田中睦	
			身体・老年期障害作業療法学特論	1	○		2	30	西田	
			精神障害作業療法学特論	1	○		2	30	織田	
			小児・発達期障害病態学特論	1	○		2	30	林	
			精神障害病態学特論	1	○		2	30	藤巻	
			作業遂行学特論	1	○		2	30	吉川・古山・高木	
			作業遂行応用学特論	1	○		2	30	久野	
			作業遂行障害学演習	1		○	4	60	西田・藤巻・吉川・古山・久野・高木・織田・助川	
			作業遂行障害学特別研究	1~2		○	10	300	西田・藤巻・吉川・古山・久野・高木・織田・助川	
			認知神経心理学特論	1	○		2	30	伊集院	
			認知・言語機能障害学特論	1	○		2	30	渡辺眞	
			認知科学特論	1	○		2	30	古屋	
			音声言語医学特論	1	○		2	30	田口	
		発語リハビリテーション特論	1	○		2	30	小澤		
		摂食嚥下リハビリテーション学特論	1	○		2	30	矢守		
		拡大代替コミュニケーション特論	1	○		2	30	坊岡		
		脳神経機能病態学特論	1・2	○		2	30	原田俊		
		オージオロジー学特論	1	○		2	30	佐藤紀		
		コミュニケーション障害・脳科学演習	1		○	4	60	伊集院・渡辺眞・古屋・田口・小澤・坊岡・佐藤紀・矢守		
		コミュニケーション障害・脳科学特別研究	1~2		○	10	300	伊集院・渡辺眞・古屋・田口・小澤・坊岡・佐藤紀・矢守		
		ヒューマンサービス分野	臨床心理学特論	1・2		○	2	30	勝見	
			地域精神保健福祉学特論	1・2	後期集中		2	30	越智	
			障害者福祉論特論	1・2	○		2	30	米倉	
			臨床家族ソーシャルワーク特論	1	○		2	30	大下	
			適応行動学特論	1	○		2	30	細羽	
			介護福祉学特論	1	○		2	30	住居・國定	
ケアマネジメント特論	1		○		2	30	金子			
福祉政策特論	1		○		2	30	田中聡子			
メンタルヘルス・ソーシャルワーク特論	1		○		2	30	松宮			
ヒューマン・サービス演習	1			○	4	60	大下・細羽・金子・田中聡子・松宮・越智			
ヒューマン・サービス特別研究	1~2			○	10	4	大下・細羽・金子・田中聡子・松宮・越智			

【修了要件】

博士前期課程に2年以上在学し、所定の授業科目を履修して30単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、学位論文の審査及び最終試験に合格すること。

【履修上の注意】

共通科目は必修2単位を含む10単位以上を修得する。

専門科目は研究指導教員が担当する特論科目、演習科目及び特別研究を含む20単位以上を修得する。

□ 総合学術研究科保健福祉学専攻博士課程後期 (令和4年度以降入学生用)

	授業科目の名称	配当年次	学 期		単 位 数			授業時間数	担 当 者 () 内非常勤	備 考
			前期	後期	必修	選択	自由			
授 業 科 目 の 概 要	共通科目	地域課題解決特論	1	○		2		30	田中 ^聡 子、岡田 ^洋 、安武、藤巻	4単位以上修得
		先端医療技術特論	1	○			2	30	西上、市村、(浦川)	
		情報伝達技術特論	1	○			2	30	開講せず	
		保健福祉サービス・アウトカム特論	1		○		2	30	飯田、安武、田中 ^聡 子	
		専門能力開発特論	1	○			2	30	黒田、津森、久野、(蒲)	
	専門支持科目	職種間連携マネジメント特論	1	○			2	30	吉川、金子、(沖田)	4単位以上修得
		生涯発達支援統合特論	1		○		2	30	林、松森	
		高齢者支援統合特論	1	○			2	30	岡田 ^洋 、西田、久野、伊集院、國定	
		ヘルスプロモーションシステム特論	1	○		2		30	黒田、青井、田中 ^聡 、森、細羽	
	専門科目	地域保健学・実践看護学特別講義	1		○		2	30	岡田 ^妙 、松森、岡田 ^洋 、青井、黒田、津森	16単位以上修得
		地域保健学・実践看護学特別演習	1		○		2	30	岡田 ^妙 、松森、岡田 ^洋 、青井、黒田、津森	
		地域保健学・実践看護学特別研究Ⅰ	1		○		4	120	岡田 ^洋 、黒田、津森、松森	
		地域保健学・実践看護学特別研究Ⅱ	2		○		4	120	岡田 ^洋 、黒田、津森、松森	
		地域保健学・実践看護学特別研究Ⅲ	3		○		4	120	岡田 ^洋 、黒田、津森、松森	
		運動行動障害学特別講義	1		○		2	30	田中 ^聡 、西上、森、小野	
		運動行動障害学特別演習	1		○		2	30	田中 ^聡 、西上、森、小野	
		運動行動障害学特別研究Ⅰ	1		○		4	120	西上、森田中 ^聡	
		運動行動障害学特別研究Ⅱ	2		○		4	120	西上、森、田中 ^聡	
		運動行動障害学特別研究Ⅲ	3		○		4	120	西上、森、田中 ^聡	
		作業遂行障害学特別講義	1		○		2	30	西田、久野、藤巻、吉川	
		作業遂行障害学特別演習	1		○		2	30	西田、久野、藤巻、吉川	
		作業遂行障害学特別研究Ⅰ	1		○		4	120	西田、久野、藤巻、吉川	
		作業遂行障害学特別研究Ⅱ	2		○		4	120	西田、久野、藤巻、吉川	
		作業遂行障害学特別研究Ⅲ	3		○		4	120	西田、久野、藤巻、吉川	
		コミュニケーション障害・脳科学特別講義	1		○		2	30	伊集院、小澤、原田 ^俊 、矢守	
		コミュニケーション障害・脳科学特別演習	1		○		2	30	伊集院、小澤、原田 ^俊 、矢守	
		コミュニケーション障害・脳科学特別研究Ⅰ	1		○		4	120	伊集院、小澤、原田 ^俊 、矢守	
コミュニケーション障害・脳科学特別研究Ⅱ		2		○		4	120	伊集院、小澤、原田 ^俊 、矢守		
コミュニケーション障害・脳科学特別研究Ⅲ		3		○		4	120	伊集院、小澤、原田 ^俊 、矢守		
ヒューマンサービス特別講義	1		○		2	30	金子、住居、田中 ^聡 子、細羽、大下			
ヒューマンサービス特別演習	1		○		2	30	金子、住居、田中 ^聡 子、細羽、大下			
ヒューマンサービス特別研究Ⅰ	1		○		4	120	金子、住居、田中 ^聡 子、細羽、大下			
ヒューマンサービス特別研究Ⅱ	2		○		4	120	金子、住居、田中 ^聡 子、細羽、大下			
ヒューマンサービス特別研究Ⅲ	3		○		4	120	金子、住居、田中 ^聡 子、細羽、大下			

【修了要件】

博士後期課程に3年以上在学し、24単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上で博士論文を提出し、その審査及び最終試験に合格すること。

【履修上の注意】

共通科目は必修2単位を含む4単位以上、専門支持科目は必修2単位を含む4単位以上を修得する。

専門科目の特別講義・特別演習は、主研究指導教員が属する分野・領域以外から履修し、各2単位修得する。

研究指導教員が担当する特別研究Ⅰ、特別研究Ⅱ、特別研究Ⅲを履修し、12単位を修得する。